

勝瑞関係年表

時代	西暦	年号	事	出来事
戦	一五二〇	永正二七・三月	三好之長、京都に返り咲く。	忠仁の乱。(二四六七)
	一五二六	大永六・一〇月	三好之長、細川高国と合戦。之長、知恩寺で切腹。	足利義晴將軍就任。(一五二〇)
	一五二七	大永七・二月	三好元長、細川晴元を擁して勝瑞より挙兵。	細川澄元、阿波で病没。(一五二〇)
国		二月	三好元長、足利義維を擁して堺に上陸。堺幕府を樹立。	細川高国自殺。(一五三二)
		二月	京都桂川の戦い。	
		七月	足利義維「從五位下、左馬頭」を名乗る。	
	一五三二	享禄五・五月	三好元長馬廻りを率いて出陣。	鉄砲伝来。(一五四三)
		六月	一向一揆により元長、顕本寺にて切腹。千熊丸、阿波に逃亡。	
	一五三三	天文二・六月	千熊丸(長慶)、細川晴元と証如光教の調停にたつ。千熊丸十二歳。	
	一五四八	天文一七・八月	長慶、細川氏綱と同盟を結び、晴元に背く。	ザビエル、鹿児島に上陸。キリスト教をつたえる。(一五四九)
	一五四九	天文一八・六月	長慶の弟十河一存が三好政長を殺し、晴元政権が崩壊。	
	一五五〇	天文一九・七月	長慶、畿内を制圧。	
	一五五二	天文二一・一月	長慶、義輝と和睦し、御供衆となる。	
	一五五三	天文二二・六月	勝瑞騒動。	
		八月	長慶と義輝は決裂。長慶裁許状の成立。	
	一五五六	弘治二・二月	三好義賢(実休)、津田宗達を招き、口切りの茶会。	桶狭間の戦い。(一五六〇)
	一五五八	永禄元・一月	長慶、義輝と講和し、京都を明け渡す。	川中島の激戦。(一五六二)
	一五六二	永禄五・三月	久米田合戦で義賢(実休)戦死。	
		五月	教興寺合戦。三好勢が六角・畠山勢を破る。	
	一五六三	永禄六・八月	長慶の嫡男義興が芥川城で病死。義継が家督を継ぐ。	
	一五六四	永禄七・五月	長慶、弟の安宅冬康を自らの手で殺害する。	

三好氏のおもな出来事

日本の出来事

戦	国
一五八五	永禄七・七月
天正二三	永禄七・七月
・九月	永禄八・五月
・八月	永禄一〇・四月
・五月	永禄一〇・四月
・七月	一五六七
・正月	一五六七
・六月	一五六七
・一月	一五六七
・二月	一五六七
・五月	一五六七
・七月	一五六七
・四月	一五六七
・三月	一五六七
・四月	一五六七
・五月	一五六七
・九月	一五六七

<p>長慶病死。(四十三歳)</p> <p>松永久秀と三好三人衆は二条御所に十三代将軍足利義輝を攻め殺害する。</p> <p>三好三人衆、一万の軍勢を率いて高屋城から奈良に進撃。</p> <p>松永久秀が三人衆と戦い、大仏殿が炎上する。</p> <p>三好氏に擁され足利義栄将軍に就任。</p> <p>足利義栄、阿波にて病死。(三十一歳)</p> <p>三人衆が阿波より入京して本圀寺の足利義昭邸を襲撃し、敗れる。</p> <p>安宅信康・十河存保・三好長逸らが大阪に進出し、信長と戦う。</p> <p>細川真之ら、篠原長房を上桜城に攻め、滅ぼす。</p> <p>勝瑞宗論(長治、領民を法華経に改宗)元親、海部城を落とす。</p> <p>三好長治、細川真之と戦い戦死。</p> <p>長宗我部元親、白地城に入る。</p> <p>十河存保が勝瑞城に入り、体制の立て直しを図る。</p> <p>重清城の合戦で存保敗れる。</p> <p>三好徳太郎が勝瑞の重臣たちを謀殺。</p> <p>篠原自遁が元親に降伏、三好王国が崩れ始める。十河存保、讃岐へ逃亡。</p> <p>十河存保再び勝瑞城へ。</p> <p>三好康長が織田軍の先陣として阿波に攻め入る。</p> <p>長宗我部元親、阿波平定の軍を起し、阿波に侵入。十河存保と中富川で戦う。</p> <p>十河存保は城を明け渡し、讃岐虎丸城へ逃亡。元親、勝瑞城を破却する。</p> <p>蜂須賀氏が徳島に本拠をおく。</p>	<p>武田信玄病死。(一五七三)</p> <p>長篠の合戦。(一五七五)</p> <p>信長、安土城を築く。(一五七六)</p> <p>松永久秀自殺。(一五七七)</p> <p>上杉謙信病死。(一五七八)</p>
<p>武田勝頼自殺。(一五八二)</p> <p>本能寺の変 信長四十九歳で死す。(一五八二)</p>	<p>信長、足利義昭を擁し入京。(一五六八)</p>

